

9. 膠原病 Rheumatic Disease,

【1】期 間 2024. 4. 3~2024. 4. 9

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎一瀬邦弘（教授、膠原病内科）
森山繭子（助教、膠原病内科）

担当講座：整形外科学，リハビリテーション部，小児科学，内科学第三（膠原病内科，脳神経内科学）

【3】授業の目的

膠原病および膠原病類縁疾患，自己炎症性疾患，免疫不全症の病態を理解し，症候，診断，治療について学ぶ。

【4】授業の到達目標

1. 各疾患における原因，病理所見を理解する。
2. 各疾患における血液検査，尿検査，免疫学的検査の意義や動向を理解する。
3. 各種自己抗体と疾患や病態との関連性を理解する。
4. 各疾患における病態，症候，診断法，治療，予後について理解する。
5. 自己免疫，自己炎症の概念を理解する。
6. 副腎皮質ステロイド薬および免疫抑制薬の作用，副作用を理解する。
7. 標的治療と免疫学的機序の関係を理解する。
8. 原発性免疫不全症の病因（機序），症候，診断，治療，予後について理解する。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い，最終日に試験を実施します。

【6】キーワード

膠原病 リウマチ性疾患 自己免疫性疾患

SDGs：3. すべての人に健康と福祉を，4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

コース終了時に，その週の学習効果を試験で評価します。

各講義によっては講義終了時に小テストがあるものもあります。その場合当日中にMoodleに回答をあげてください。

【8】参考図書（◎は学生購入推薦図書，他は図書館に備えてあります）

1. 内科学. 矢崎義雄 総編集 朝倉書店 2017年
2. 膠原病学 塩沢俊一著 丸善
3. 病気がみえる 6 免疫膠原病感染症、2018年
4. Rheumatology, Klippel, Dieppe Eds. Mosby Arthritis and Allied Conditions, Koopman Eds. Williams&Wilkins
5. Dubois' Lupus Erythematoses and related diseases. Wallace, Hahn Eds. Williams&Wilkins, 2019年
6. 現代リハビリテーション医学 改訂第4版 千野直一 編 金原出版 2017年
7. 膠原病診療ノート—症例の分析・文献の考察・実践への手引き第4版 三森明夫, 2019年
8. EXPERT 膠原病リウマチ第4版 住田孝之編 診断と治療社 2019年

9. アミロイドーシス診療のすべてーガイドライン完全解説. 山田正仁, 2011, 医歯薬出版
10. 整形外科医の関節リウマチ診療 ABC-知っておくべき! 西田圭一郎著, 文光堂, 2016 年
11. 標準整形外科第 14 版 井樋 栄三 医学書院 2020 年
12. リウマチ病学テキスト 改訂第 2 版 診断と治療社 2016 年
13. 全身性エリテマトーデス 臨床マニュアル 第 3 版橋本博史 日本医事新報社 2017 年
14. 全身性エリテマトーデス診療ガイドライン 2019 - 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業 2019 年
15. ベーチェット病診療ガイドライン 2020 (日本語) 単行本 - 日本ベーチェット病学会 (監修), 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)ベーチェット病に関する調査研究班 (編集) 2019 年

【6】局所解剖 なし